

# まちづくりに関する町民アンケート結果

町では、毎年3月に18歳以上の町民から600人を無作為に選んで「まちづくりに関するアンケート調査」を実施しています。(今年の回収率41.7%)  
アンケートでは、最上位計画である総合計画に基づき進めている59施策について、どれくらい重要かまた満足しているかを評価していただきましたので、ご紹介します。  
皆さんから寄せられた貴重なご意見は、今後のより良い行政運営のために活かします。



## ●町民の満足度が高い施策【上位10位】

満足度	重要度	施策名	平成27年度の主な取り組み
1位	2位	疾病の早期発見と健康管理	500円検診、肺炎球菌ワクチン予防接種の助成
2位	4位	疾病予防対策の充実	妊婦・中学生以下のインフルエンザ予防接種無料
3位	7位	ごみ減量化・リサイクル等の促進	綿製品・衣服・靴・鞆の無料回収
4位	3位	医療受診体制の充実	中学生までの医療費無料
5位	6位	母子保健体制の充実	保健師による健康相談、不妊治療の助成
6位	9位	学校給食の充実	雨竜町への給食提供開始
7位	13位	子育て支援の充実	満点で5千円分になる得きっずカード
8位	8位	国民健康保険、後期高齢者医療の安定的運営	75歳以上の基本健診の無料化
9位	5位	児童福祉サービスの充実	放課後児童クラブの試行、保育園の運営
10位	10位	ごみ処理体制の整備	広報によるゴミ節約方法の周知

満足度が高い施策は、重要度についても高い傾向にあり、取り組みがうまくマッチしていると考えられます。  
なお、重要度1位は「除排雪体制の整備」で、満足度は18位と一定の評価をいただいておりますが、町民からの意見・要望も多く、より満足度を高めるための取り組みが求められています。



## ●町民の満足度が低い施策【下位10位】

満足度	重要度	施策名	平成27年度の主な取り組み
49位	27位	農産物ブランド化の支援	トマト・メロン・しいたけ・玉ねぎの推奨
49位	46位	中小企業等の経営支援	事業融資に係る利子を全額補助
51位	21位	地域公共交通の確保	乗合タクシー・ワゴン、中央バスへの運行助成
52位	55位	消費者対策の充実	消費者生活相談の実施
53位	44位	町有林・民有林の保護育成	木質バイオマスの調査研究
54位	40位	有害鳥獣駆除対策の推進	シカ・アライグマの駆除
55位	47位	観光資源の発掘	北大留学生の視点による観光資源の発掘
56位	54位	労働者対策の推進	中空知地域職業訓練センターの利用促進
57位	27位	雇用の安定と促進	企業誘致に係る優遇（固定資産税5年免除）
58位	59位	省エネ・省資源活動の促進	家計節約方法を提案する「うちエコ診断」の実施
59位	58位	農商工等連携体制の確立	地域おこし協力隊、6次産業化の検討

満足度が低い施策は、重要度も低い傾向にあります。しかし、「農産物のブランド化の支援」「地域公共交通の確保」「雇用の安定と促進」については、重要度が中位に位置しており、特に改善が求められる施策になります。

■担当：総務課企画調整グループ ☎76-2131

# Jアラート(防災無線)を利用した行動訓練を行います！



訓練放送が聞こえたら身体防御行動や避難行動をとってください！

消防庁と気象庁では、緊急地震速報を全国瞬時警報システム（Jアラート）で配信する全国的な訓練を行います。

本町でも、防災無線を使って訓練を行いますので、訓練放送「大地震です！」が聞こえたら、その場でできる限りの身体防御や避難行動を取ってください。

**訓練放送時間：6月23日（木）午前10時15分ごろ**

※気象・地震活動の状況などによっては、訓練を中止することがあります。

## 地震のときの行動をあらかじめ考えましょう！

緊急地震速報を見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間はごくわずかです。  
短い時間に、あわてずに身を守る行動をとるためには、あらかじめどのような行動をとるかを考え、実際に行動をとって経験しておくことが大切です。

## まわりの人にも声をかけながら、あわてず、まず身の安全を！！

### 地震の際の安全確保行動 1-2-3



(北海道シェイクアウトHPより)

●室内にいる時に地震が発生したら  
頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難してください。  
あわてて外に飛び出さないでください。無理に火を消そうとしないでください。

●人が大勢いる施設では  
施設の係員の指示に従ってください。落ち着いて行動し、あわてて出口には走り出さないでください。

地震のゆれ自体でケガすることはめったにありません。地震による死傷例の大半は、家屋の倒壊、ガラスの破片や落下物が原因です。

年に一度は周りを確認してみてください。家の居間や寝室、職場、学校などの屋内で、自分に落ちてくるものはないか、そしてどこが安全な場所かを確認し、避難行動をイメージしましょう。

■担当：災害対策事務局（総務課） ☎76-2131